



## 2022年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月8日

上場会社名 マニー株式会社  
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長  
 四半期報告書提出予定日 2022年7月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 齊藤 雅彦  
 (氏名) 高橋 一夫  
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年8月期第3四半期の連結業績(2021年9月1日～2022年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	14,830	14.6	4,543	6.4	5,521	19.5	3,790	8.9
2021年8月期第3四半期	12,935	9.0	4,268	15.8	4,621	21.7	3,480	22.1

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 5,895百万円 (46.0%) 2021年8月期第3四半期 4,037百万円 (49.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	38.51	
2021年8月期第3四半期	35.36	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	46,437	42,736	92.0
2021年8月期	42,693	39,202	91.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 42,736百万円 2021年8月期 39,202百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		11.00		12.00	23.00
2022年8月期		12.00			
2022年8月期(予想)				18.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,150	17.2	6,150	15.0	7,050	24.1	4,850	13.0	49.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の数字となっております。

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期3Q	106,911,000 株	2021年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2022年8月期3Q	8,484,468 株	2021年8月期	8,484,459 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期3Q	98,426,536 株	2021年8月期3Q	98,426,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による行動制限が一部地域を除き緩和されたことで回復基調となりました。一方で、世界的なサプライチェーンの混乱やロシアのウクライナ侵攻に端を発する資源価格の高騰、さらには急激な円安やインフレ圧力の強まり等から先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、「世界一の品質を世界のすみずみへ」を使命として、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画をスタートさせております。当社グループのさらなる成長を目指して営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを進めております。また、中期経営計画の重点製品として開発を進めてまいりました硝子体攝子の薬事登録を終え、薬事認証を取得いたしました。さらにNiTiロータリーファイルは量産体制を構築し、認知度向上を目指したセミナー等を実施し売上拡大に向けたマーケティング活動を進めております。ドイツのグループ会社では新本社工場建設用の土地取得が完了し、次期の完成に向け建設を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

アジアでの販売拡大、欧州における需要回復並びに円安に伴う為替影響により、売上高は 14,830百万円 (前年同期比 14.6%増) となりました。第2四半期に続き適正在庫の見直しを目的とした在庫処分の結果、売上原価率は悪化したものの、売上高の増加等により営業利益は4,543百万円 (同 6.4%増) となりました。経常利益は為替差益が前年同期より増加したこと等により5,521百万円 (同 19.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上された投資有価証券売却益がなくなったものの、経常利益が増加したこと等により3,790百万円 (同 8.9%増) となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上が欧州、アジア並びに国内で好調に推移したことから、売上高は 4,388百万円 (前年同期比 20.8%増) となりました。また、売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は 1,531百万円 (同 24.0%増) となりました。

#### (アイレス針関連製品)

アジア並びに北米において売上が好調に推移したことから、売上高は 4,362百万円 (前年同期比 17.1%増) となりました。売上高の増加があったものの、適正在庫の見直しを目的とした在庫処分の結果、セグメント利益 (営業利益) は 1,123百万円 (同 9.1%減) となりました。

#### (デンタル関連製品)

中国のロックダウンの影響があったもののインドを中心にアジアにおいてダイヤモンド等の売上が好調に推移したことにより、売上高は 6,079百万円 (前年同期比 9.0%増) となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は 1,888百万円 (同 5.1%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 3,744百万円増加し、46,437百万円となりました。これは主に、現金及び預金、機械装置及び運搬具並びに土地が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ 210百万円増加し、3,701百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用等が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 3,533百万円増加し、42,736百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。連結業績予想につきましては、直近の為替動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2022年7月8日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,287	20,311
受取手形及び売掛金	1,901	2,194
有価証券	608	599
商品及び製品	772	764
仕掛品	3,885	3,586
原材料及び貯蔵品	1,808	2,015
その他	369	469
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,631	29,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,033	4,289
機械装置及び運搬具(純額)	4,206	4,749
土地	3,873	4,349
その他(純額)	1,122	1,363
有形固定資産合計	13,235	14,751
無形固定資産		
のれん	73	—
ソフトウェア	24	81
その他	796	894
無形固定資産合計	895	975
投資その他の資産		
投資有価証券	387	340
繰延税金資産	350	256
保険積立金	177	160
その他	15	14
投資その他の資産合計	931	771
固定資産合計	15,062	16,498
資産合計	42,693	46,437

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	156	138
未払金	373	420
リース債務	69	65
未払法人税等	1,004	674
賞与引当金	462	297
その他	493	1,215
流動負債合計	2,559	2,811
固定負債		
リース債務	59	18
役員退職慰労引当金	102	54
退職給付に係る負債	582	597
資産除去債務	151	183
その他	35	34
固定負債合計	931	889
負債合計	3,490	3,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	39,750	41,179
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	38,650	40,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	22
為替換算調整勘定	571	2,685
退職給付に係る調整累計額	△60	△51
その他の包括利益累計額合計	552	2,657
純資産合計	39,202	42,736
負債純資産合計	42,693	46,437

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	12,935	14,830
売上原価	4,575	5,793
売上総利益	8,360	9,036
販売費及び一般管理費	4,092	4,493
営業利益	4,268	4,543
営業外収益		
受取利息	52	82
受取配当金	1	—
投資事業組合運用益	4	9
為替差益	384	886
その他	11	40
営業外収益合計	455	1,019
営業外費用		
支払利息	1	1
シンジケートローン手数料	2	2
持分法による投資損失	13	—
自宅待機時休業補償等	58	—
外国付加価値税等	22	6
未稼働用地関連費用	—	26
その他	4	4
営業外費用合計	102	41
経常利益	4,621	5,521
特別利益		
保険解約返戻金	2	5
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	107	—
関係会社株式売却益	48	—
受取保険金	166	1
特別利益合計	324	11
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	3	4
減損損失	—	20
固定資産撤去費用	13	—
役員退職慰労金	0	33
火災損失	12	2
特別損失合計	38	59
税金等調整前四半期純利益	4,907	5,473
法人税、住民税及び事業税	1,375	1,576
法人税等調整額	51	105
法人税等合計	1,427	1,682
四半期純利益	3,480	3,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,480	3,790



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	3,480	3,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△18
為替換算調整勘定	622	2,113
退職給付に係る調整額	8	9
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	557	2,104
四半期包括利益	4,037	5,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,037	5,895

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、レポート等の顧客に支払われる対価について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高については33百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,633	3,726	5,575	12,935	-	12,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	3,633	3,727	5,575	12,937	△1	12,935
セグメント利益	1,235	1,235	1,797	4,268	-	4,268

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	4,388	4,362	6,079	14,830	-	14,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2	-	2	△2	-
計	4,388	4,365	6,079	14,832	△2	14,830
セグメント利益	1,531	1,123	1,888	4,543	-	4,543

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。